

降雨後の対策について

令和3年7月8日

浸水、冠水被害を受けたほ場では、**速やかな排水に努め**、病気予防のためそれぞれ**殺菌剤の散布**を行いましょう。

谷に水が溜まった状態が続くと、根傷みや根の伸長阻害、生育不良や発病の原因となります。**液肥等の葉面散布により発根促進**に努めましょう！

(例) **ホスプラス(1000倍)**

アツ・リキッド 413(1000倍) ※他の液肥と混用不可

※いずれも薬剤と混用可能(但し、Zボルドー等のアルカリ資材との混用は不可)

【黒大豆】

① 殺菌剤をたっぷり散布し病気の予防に努める。

(茎疫病・べと病)

ランマンフロアブル(1000倍)又は**ライメイフロアブル(2000倍)**を株元散布する。

(斑点細菌病・紫斑病)

Zボルドー(水和剤)(500倍)を散布する。

② 土壌条件が悪い時は無理に土寄せを行わない。



【山の芋】

① 殺菌剤をたっぷり散布し、病気の予防に努める。

(炭そ病・つる枯病・葉渋病)

ダコニール 1000(1000倍)を散布する。

② 谷に溜まった水につるが浸からないよう、つる管理を行う。



【野菜類】

① 風雨で茎葉がもまれた場合は、殺菌剤の散布を行い、病気の予防に努める。

(防除薬剤) **Zボルドー(水和剤)(500倍)**を散布する。

② 発病した場合は治療剤を散布する。